

山野貝塚から発見されたもの

山野貝塚からは、縄文時代後・晩期（今から約 4,000 年前～2,300 年前）の土器・石器などの人工遺物の他、貝・動物の骨などの自然遺物も多く発見されています。

ここでは、写真でその一部を紹介します。

●人工遺物

・土器



山野貝塚から出土した土器

縄文時代後期前葉堀之内式土器ほりのうち～晩期前葉安行 3b 式土器あんぎょうが多く出土しました



別の地域からもたらされたと考えられる土器

縄文時代後期中葉の近畿地方の「元住吉山Ⅰ式土器」に類似する土器。
もとすみよしやまいち

巻貝の表面や先端で模様をつけています

・土製品



土偶と土版

縄文時代後期～晩期にかけての土偶。最下段右から2番目のみ土版。



土製円盤

土器片を打ち欠いたり研磨したりして円形～楕円形に調整したもの。用途はよくわかっていません。

・石器



剥片石器、玉類 上段・中段左から1～3番目：石鏃、中段左から4～7番目：石錐
下段左：楔形石器、下段左から2～3番目：玉類



剥片・石核・打製石斧・磨製石斧 上段左：剥片、上段左から2～3番目：石核
上段左から4～7番目・中段左から1～4番目・下段左：打製石斧、その他：磨製石斧



磨石類・砥石・軽石製品　上段・中段・下段左から1～3番目：磨石類
下段左から4～5番目：砥石、下段左から6～7番目：軽石製品



石皿



石棒・石剣、独鈷石 右下が独鈷石

・骨角牙製品



シカの骨や角、イノシシの牙、鳥の骨、魚の椎骨等を素材とする道具です。上から2段目、左から6番目の遺物は鹿角を素材とした鋸もりです。外湾（湾口）部との関わりを示唆します。

・貝製品



下段右から2、3番目：貝輪、下段右：垂飾品、それ以外は貝刃。下段右から3番目の貝輪は「オオツタノハ」という現在伊豆諸島で採取される貝を素材。垂飾品も南方からもたらされたと考えられます。

●自然遺物

・貝類



巻貝、二枚貝



二枚貝



魚類③

・鳥類



・哺乳類



海生哺乳類（イルカ・クジラ類）



小型哺乳類①



小型哺乳類②



小型哺乳類③



イノシシ①



イノシシ②



イノシシ③



シカ①



シカ②



シカ③



シカ④